

足立区大谷田就労支援センター
足立区大谷田ホーム

平成19年1月

OH! YATTA!! 新年号

発行責任者/末吉 正和

〒120-0001 足立区大谷田1-44-3

TEL:03-3605-6762 FAX:03-3605-7037

URL:http://ohyatta.zive.net

オオ!

ヤッター!!



あけましておめでとうございます。

旧年は、障害者の生活に大きな影響を与える「障害者自立支援法」が施行され、障害者自身はもちろん、施設運営にとっても大きな転換点になりました。そんな中でも、地域を始め、多くの方々に助けられながらの1年でした。

今年も落ち着いた年になりそうですが、皆様との出逢いを大切にして、充実した1年を送りたいものです。

皆様にとって健やかで、喜び多き一年でありますように。

平成19年新春

足立区大谷田就労支援センター
センター長 末吉 正和

平成18年10月1日

秋の祭礼(三七会)

「わっしょい、わっしょい」の威勢のいい掛声が地域に響き渡ります。毎年、大谷田障害福祉施設の内庭で行われる大谷田上自治会三七会秋の祭礼、大谷田就労支援センターがこの地に開設してから参加させていただいています。参加する地域の方たちも年々増え、施設利用者の家族の方の参加も年々多くなってきています。

祭礼当日は、お神輿が地域を練り歩き、子供たちの山車が太鼓の打ち鳴らしながら、神輿の後に続きます。前日の宵宮は、子供たちが沢山集まり、金魚すくい、ヨーヨー、ソースせんべいを楽しみ、ビンゴゲームでは、豪華景品に子供も大人も読み上げられる番号に一喜一憂しながら、秋のひと時を楽しく過しています。

写真の一コマは、三社祭りと勘違いするほどの威勢のいい男集の神輿です。

(記事は2面へ続く)



センターの内庭は、 地域の子供たちでいっぱい。

平成18年9月30日(土)に行われた秋の祭礼宵宮は、地域の大人も子供も沢山集まり、金魚すくい、ヨーヨー、ソースせんべい、ビンゴゲームに歓声を上げ、秋の夜長を楽しみました。



秋の祭礼本番、「わっしょい、わっしょい」 掛声が地域に響き渡ります。

10月1日(日)雨が心配される中、坂本会長の掛声とともに秋の祭礼が始まりました。
午後2時頃から雲行きがあやしくなりましたが、無事に終了しました。



12月2・3日に大谷田ホーム那須塩原へ

今回は、大谷田ホームの那須塩原への旅行を紹介します。
 昨年、入居者から「みんなで旅行をしたい。」と提案があり、入居者会で相談してきました。
 色々ありましたがやっと実現しました。
 ごらんのとおり、普段とはちよっぴり違うすがすがしい表情です。〈千本松牧場にて〉



餃子を食へ、みんなで記念撮影



日光江戸村にて



宿での夕食、お腹いっぱいになりました。



ニャンまげ様と
みんなでやねん！」



甘酒に舌鼓



子供の頃やった駒まわしに挑戦



遠山の金さんは、やっぱり正義の味方でした。



大谷田ホームとは…

足立区が実施する地域生活支援事業(福祉ホーム)です。(大谷田障害福祉施設2階)
障害を持った方に、居住を提供し日常生活に必要な支援を行ないます。



行ってきま〜す。日中は通所施設・職場へ出掛けます。



通院や買物、
銀行へはヘルパーさんと一緒にです。



温かい食事を食べながら、
会話も盛り上がります。



洗濯機の操作も御手のもの



入居者会。
話し合う議題は
色々。皆で話し
合って決定します。



毎月のお金の管理は
自分たちで行って
います。1週間の使っ
たお金を計算し、
残金と照らし合わ
せています。
計算…間違っ
ていないか
な？



■避難訓練

年3回訓練
を行います。
地震、火災を
想定した訓練
です。
緊張感で身体
が動かなくな
ってしまい、
周りの手助け
で、ベランダ
へ避難しまし
た。
3階のグルー
プホームも訓
練に参加、非
常階段を使っ
て内庭の隅に
避難。



自転車・軽作業室



移送所に集められた放置自転車



寒い時の水洗い作業はいつそう寒が身に凍みます。



作業室の中で、きれいに磨きを掛けます。



少々のは部品を入れ替えたりして直します。

自転車・軽作業室では、リサイクル自転車作業と軽作業を行っています。リサイクル自転車作業は、公用車と清掃車と二つの作業があります。公用車とは、足立区の条例により不法駐輪や不法放置で処分対象となった放置自転車の一部について、清掃・整備を行い公用自転車として足立区立の学校や施設、各事務所に納めています。もう一方の清掃車とは、上記と同じ処分対象となった自転車をリサイクル目的で区内の自転車屋さんが区から買い取り、中古自転車として販売をしているものですが、その自転車の清掃作業だけを行い、納品させてもらっています。軽作業では精密部品の検品やバリ取り、割り箸の袋詰め作業、広報誌の封入封緘等を行っています。

現在は作業メンバーが5人と少なく、忙しい時にはフル回転で作業をこなしていますが、平均年齢が高いわりに個性豊かなメンバーが揃っているので、毎日、和気藹々と作業をこなしています。



割り箸の袋詰め作業。



精密部品の検品、パッケージに並べる作業。

バリアフリーとは、みんなが参加して相手の立場で考える街づくり。

センターでは、東京都立足立東高校「体験学習」福祉体験を行っています。



大谷田就労支援センターでは、東京都立足立東高校のカリキュラム「体験学習」で、福祉体験講座を行っています。

この体験学習の講座内容は数種類あり、その一つとして福祉体験講座があります。高校生が実際の福祉施設で実習を行い、その経験を通して社会性の向上、知識・経験の修得、勤労観の取得、自己確立などを目的として取り組まれています。

センターでは普段地域の皆様にお世話になり、多くの方々に支えて頂いています。そういった中で、自分たちの出来ることの一つとして、この体験学習に協力しています。

内容は、センターの利用者の皆さんと東高校の2年生の生徒さんと一緒に、周辺地域のバリアフリーの状況調査とその準備学習を行っています。

「バリア」とは障壁とか障害のことをいい、バリアフリーとはこのバリアがない状態のことをいいます。高齢者や障害者、児童、妊産婦などが生活する上で、使いやすい環境や道具を作るという考え方です。具体的には、階段やスロープ、歩道幅の確保、歩道上の障害物の解消、点字ブロック、誰もが見ることのできる情報など、もっと広い範囲で捉えると偏見や差別のないことなども含まれます。

こういったバリアフリーの考え方は、誰もが街の中を自由に行き来でき、社会のいろいろな機会に参加できることです。そして、同じ地域社会で共に生き、支え合う街づくりを目指すものです。

この活動も今年で3年目になります。年間を通して月2回程度行っています。具体的には、車イスで生徒さんと一緒に街に出かけて様々な体験を行います。最初は、初めて見聞することが多く半信半疑な生徒さんも、一緒に行動している中で、お互いを知る良いきっかけになりました。私たちが改めて気付かされたことも多くあり、一層勉強していかなければと実感しております。

また普段からこの体験学習を理解して頂き、御協力いただいている、三井住友銀行大谷田支店さん、主婦の店いづみ大谷田団地店さん、JR東日本亀有駅さん、東武バスさん、地域の関係各所の皆様には本当にお世話になり、この場をお借りして、日頃の御礼を申し上げさせていただきます。



平坦なのですが、石畳の道路はガタガタしていて操作も一苦労でした。



ノンステップバスに乗るところです。もっと、ノンステップバスが増えると私たちの行動範囲も広がるんですが…。



車椅子だと上の方のボタンが押せない。お金を入れるのも、缶を取り出すのも大変です。



亀有駅のエスカレーター、車椅子に乗っていると下が見えずドキドキです。駅員さんに手伝ってもらって心強かった。



足立区郷土博物館に行ってきました。車椅子だと目線が上向きになり、首が痛くなります。



写真では判りにくいのですが、矢印の部分に曲っています。車椅子でも通れるように工夫してあります。



視覚障害の模擬体験、介助体験をしました。初めての体験で、見えないことの怖さを知りました。ビクビクでした。介助する方もどう声を掛ければいいのか見当がつかせません！！



亀有駅の車椅子トイレです。ハイビートヘッドがついています。手洗いの鏡も斜めになっており、内は車椅子が回転できるスペースになっています。



今回は、大谷田ホームの非常勤職員をご紹介します。



氏名 武田 亘生
東京介護専門学校 1年
趣味 デートの計画(プラン)を立てる事
夢 エベレストに登りたい
ホノルルマラソンにも参加したい
目標 関わる全ての人の笑顔を見る
最後に一言 常に少年の心を持ち続ける事を大切にしています。



氏名 川瀬 政彦
東京介護専門学校 1年
趣味 スケートボード
夢 障害者施設で働きたい。障害者に関わる仕事につきたい。
目標 今、通っている学校を卒業する事。
最後に一言 これからも頑張っていきます。よろしくお願いします。



保健まめ知識

ノロウイルス食中毒

ノロウイルス自体はありふれたウイルスで、食品を媒介とする食中毒と、人から人うつる感染症の2つの顔をもっています。食中毒は、ここ数年、年に250件前後、患者数にして約1万人報告されており、細菌性のカンピロバクターやサルモネラに次いで多く、発症人数では第1位になっています。学校給食などによるものが多いようです。

食品は生ガキによるものが多いと考えられていましたが、最近では学校給食などが原因で起こる食中毒の中にこのウイルスによるものがあることがわかってきました。この場合は、下痢中、または下痢が治った後の職員が調理に関係している二次感染が多いという報告があります。

感染性胃腸炎の原因にもなるノロウイルスは人から人への感染症では、おもに感染性胃腸炎の原因にもなります。新感染症法で5類感染症のひとつに分類され、全国の小児科3000カ所で定点調査、流行の動向が監視されています。2004年、広島県某市の特別養護老人ホームをはじめ各地の福祉施設などで高齢者の集団感染が起こり、ノロウイルスの存在が注目を集めた経緯があります。このようにノロウイルスによる胃腸炎は食中毒

として起こるほかに、医療機関や老人施設などにおける接触感染によっても起こり、最近では後者の広がり方が問題視されています。対策は食品を介するものは加熱を十分にする(カキフライでも加熱が不十分だと起こるという報告があります)。接触感染対策には下痢便、吐物の処理にはゴム手袋をつけるか、流水と石けんで念入りに手洗いすること、または次亜塩素酸ナトリウムで消毒することです。アルコール消毒は無効です。症状は軽く無治療で治ることが多いようです。潜伏期間は30時間程度です。症状は下痢や嘔吐[おうと]が中心で、腹痛や発熱を伴うこともあります。1日程度で無治療のうちに治ることが多いものです。感染しても発症しない人が2~3割います。また、二次感染を防ぐため、患者のふん便やおう吐物等に直接触れないよう、手袋を着用するなど、処理には十分注意してください。処理した後は、石けんでしっかり手を洗い、うがいをしましょう。手を洗う時は、腕から指先まで、30秒以上、しっかり洗いましょう。

感染予防の基本は「手洗い」です！